

# 第41回 新井商工会議所 会員景況調査 結果

(令和5年4月～6月実績 令和5年7月～9月見通し)

新井商工会議所・中小企業相談所

□調査時点 令和5年6月30日

□調査方法 郵送による調査表送付、郵送とWEBによる回答(記名式)

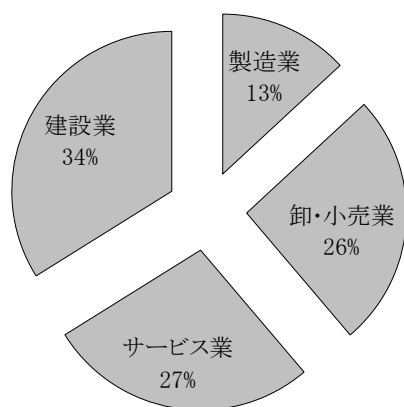
□調査対象 新井商工会議所会員企業598社(調査対象外52事業所は除く)

□回答数 183(回答率30.6%)

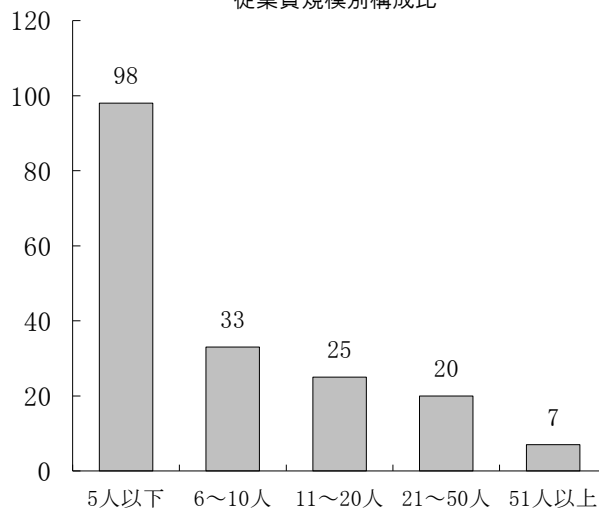
◆業種別内訳:製造業24 卸・小売業47 サービス業50 建設業62

◆従業員規模別内訳:5人以下98 6～10人33 11～20人25 21人～50人20 51人以上7

回答企業業種別構成比



従業員規模別構成比



※1 当調査における業種別の小分類は下記の通りです。

(中小企業基本法の業種分類になります。日本標準産業分類とは異なります。)

1. 製造業 食料品・繊維製品・印刷出版・鉄鋼業・木材・金属製品・機械機器・電気機器・その他
2. 卸・小売業 衣服身の回り品・食料品・**飲食店**・家具建具什器・衣料品化粧品・燃料・家電家庭用機械・スポーツ用品、玩具・カメラ時計眼鏡・その他
3. サービス業 旅館・洗濯理容美容・自動車整備・娯楽旅行レジャー・医療教育・物品賃貸・その他
4. 建設業

※2 構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計してもかかわらず100とはならない場合があります。

# 業況

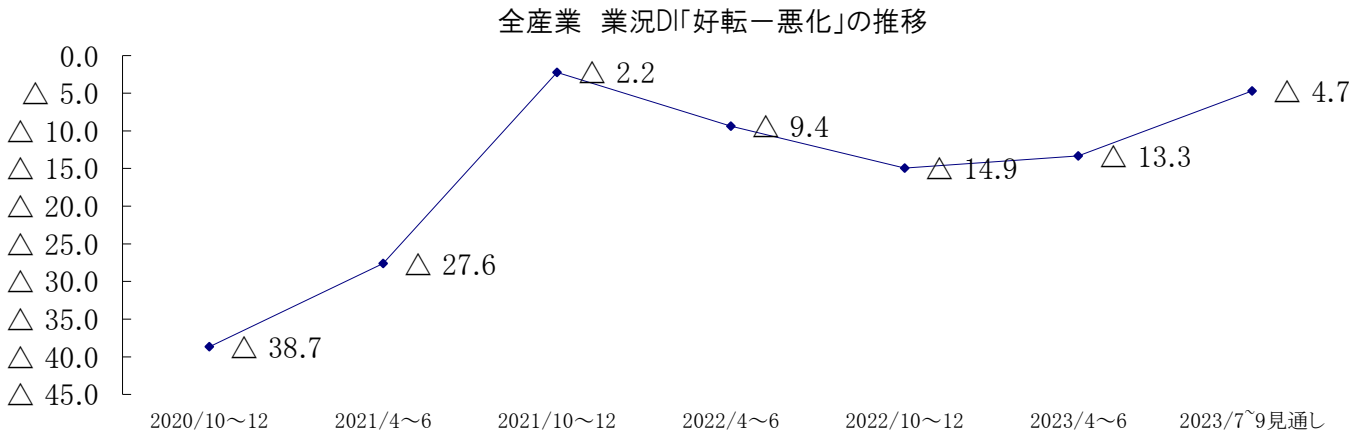
全産業の業況DI 前回に比べ 1.6ポイント改善し、見通しも8.6ポイント改善

## □2023年4～6月期 全業種の業況実績

今期の業況DI値(「好転」と回答した企業-「悪化」と回答した企業)は△13.3で、前回調査(2022年10月～12月)の△14.9に比べ1.6ポイント改善しました。

## □2023年7～9月期 全業種の業況見通し

全産業の業況DI値は、今期実績の△13.3から△4.7へと8.6ポイント改善する見通しとなりました。



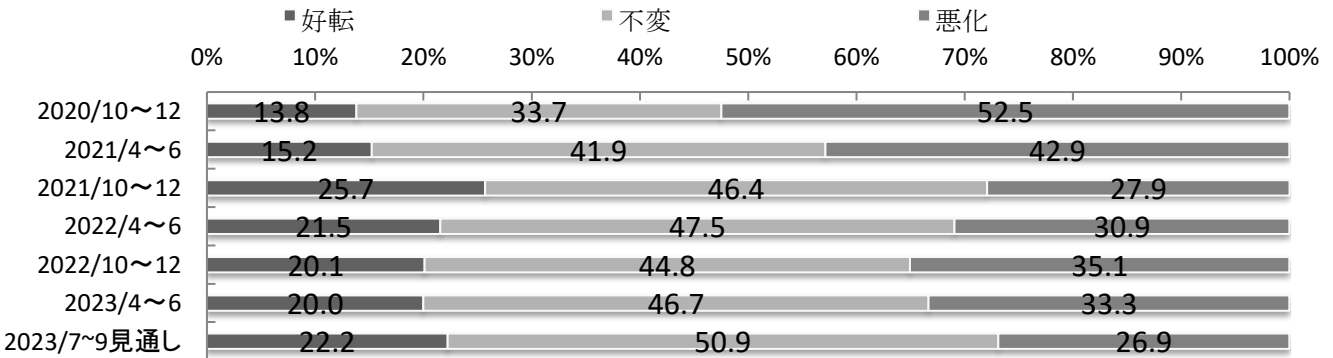
## □2023年4～6月期 業種別業況実績

前回調査(2022年10月～12月)実績に比べ、製造業、サービス業で改善しています。

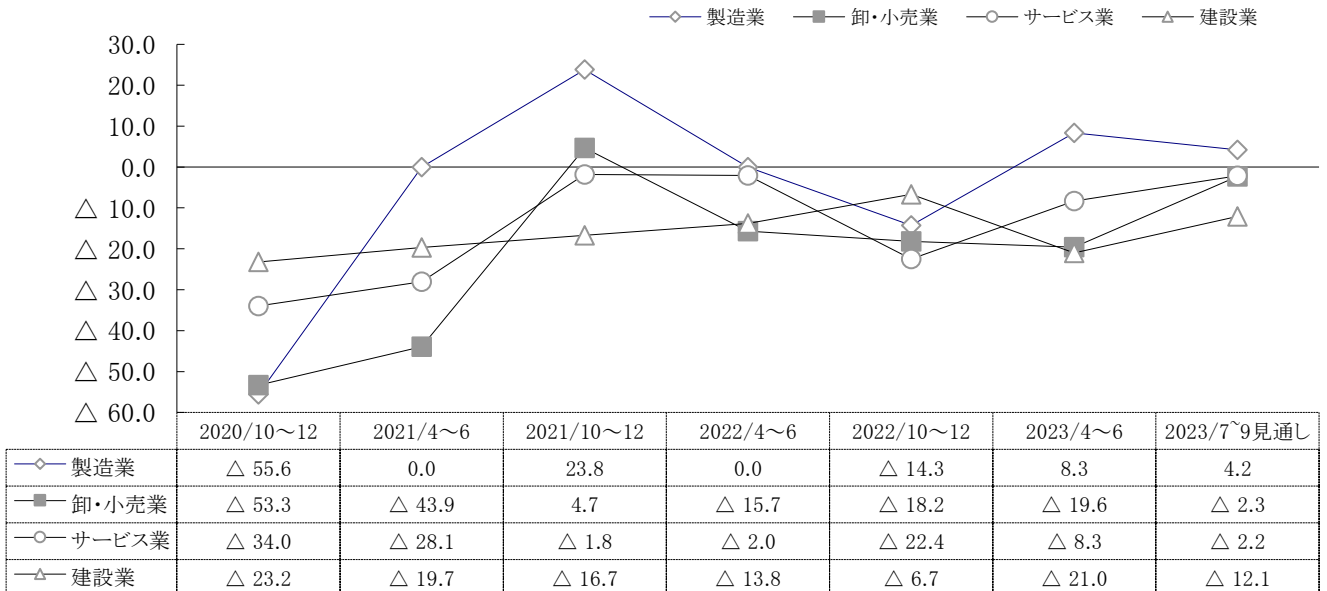
## □2023年7～9月期 業種別業況見通し

2023年4～6月期実績DI値に比べ、2023年7～9月期見通しDI値は卸・小売業、サービス業、建設業で改善しています。

## 全産業 業況の推移



## 業種別業況DI「好転-悪化」の推移



# 売上の動向

売上DI 前回より8.2ポイント改善するも、見通しは若干悪化

## □2023年4～6月期 全業種の売上

今期の売上DI値（「増加」と回答した企業－「減少」と回答した企業）は△6.1ポイントで、前回調査（2022年10月～12月）の△14.3ポイントに比べ8.2ポイント改善しました。

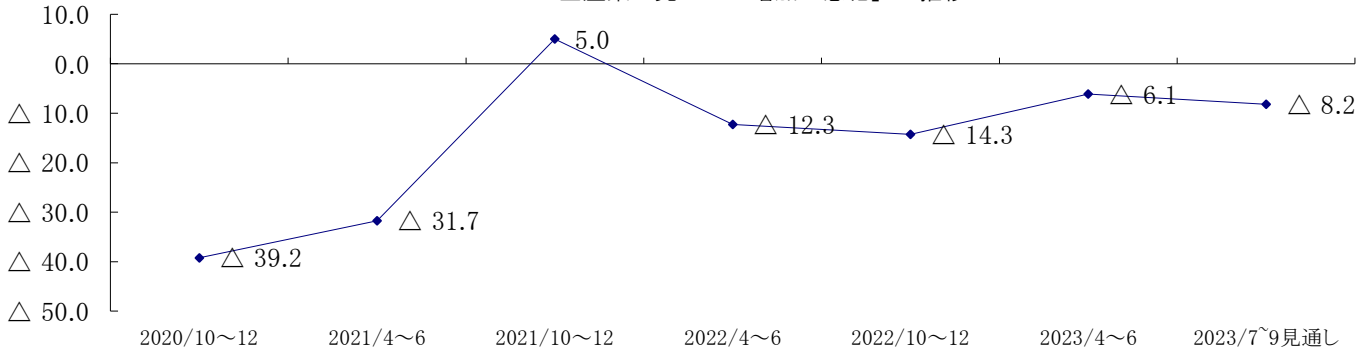
## □2023年4～6月期 業種別の売上

DI値の動きを、今期実績と前回調査（2022年10月～12月）実績で比較すると、製造業、卸・小売業、サービス業で改善しています。

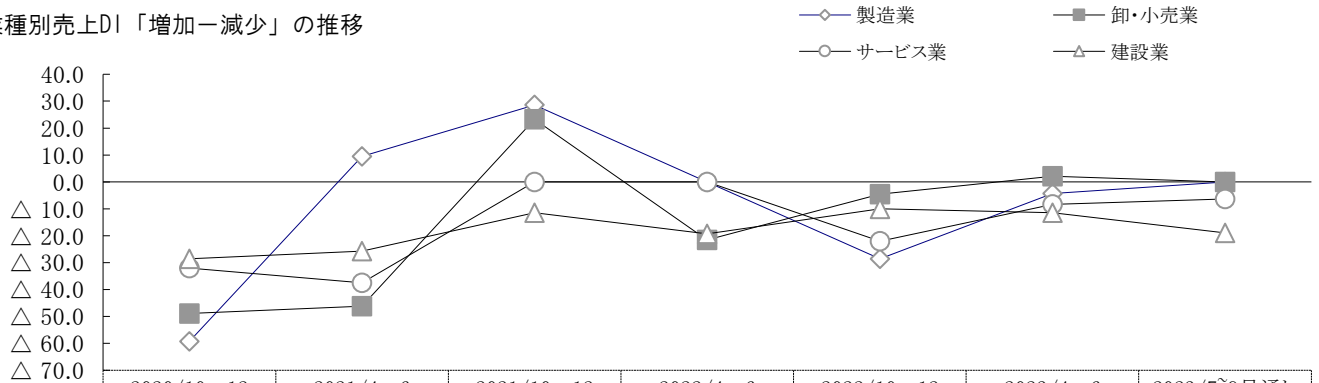
## □2023年7～9月期の見通し

全産業の売上DI値は、今期実績の△6.1から△8.2へと2.1ポイント悪化する見通しとなりました。

全産業 売上DI「増加－悪化」の推移

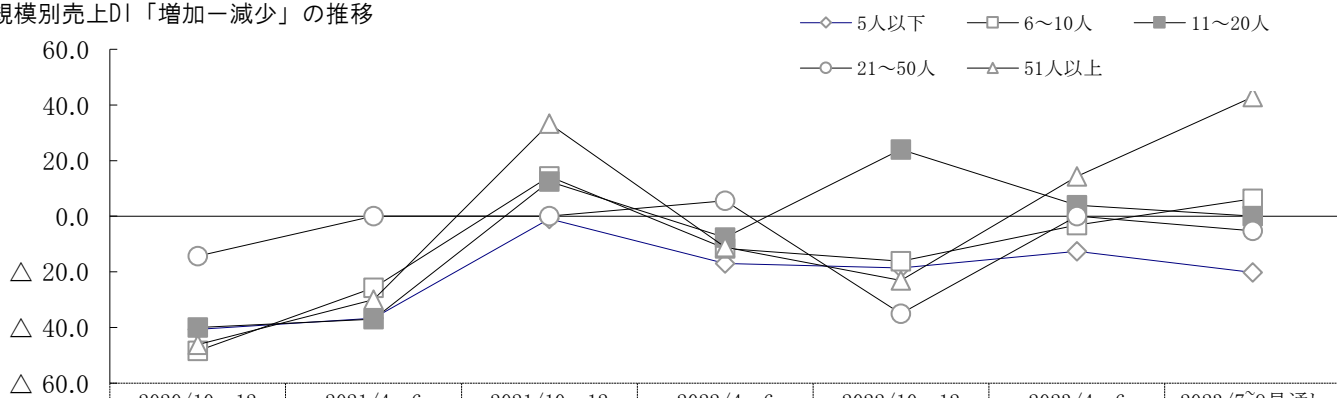


業種別売上DI「増加－減少」の推移



	2020/10～12	2021/4～6	2021/10～12	2022/4～6	2022/10～12	2023/4～6	2023/7～9見通し
製造業	△ 59.3	9.5	28.6	0.0	△ 28.6	△ 4.3	0.0
卸・小売業	△ 48.9	△ 46.2	23.3	△ 21.6	△ 4.5	2.1	0.0
サービス業	△ 32.1	△ 37.5	0.0	0.0	△ 22.0	△ 8.3	△ 6.4
建設業	△ 28.6	△ 25.8	△ 11.5	△ 19.3	△ 10.0	△ 11.5	△ 19.0

規模別売上DI「増加－減少」の推移



	2020/10～12	2021/4～6	2021/10～12	2022/4～6	2022/10～12	2023/4～6	2023/7～9見通し
5人以下	△ 40.7	△ 36.7	△ 0.9	△ 17.0	△ 18.6	△ 12.6	△ 20.2
6～10人	△ 48.4	△ 25.7	14.3	△ 11.5	△ 16.1	△ 3.1	6.3
11～20人	△ 40.0	△ 37.0	12.5	△ 7.7	24.0	4.0	0.0
21～50人	△ 14.3	0.0	0.0	5.6	△ 35.0	0.0	△ 5.3
51人以上	△ 46.2	△ 30.0	33.3	△ 11.1	△ 23.1	14.3	42.9

## 販売数量の動向 販売数量DI 前回より6.8ポイント改善し、見通しも改善

### □2023年4～6月期 全業種の販売数量

今期の販売数量DI値(「増加」と回答した企業-「減少」と回答した企業)は△13.4で、前回調査(2022年10月～12月)の△20.2ポイントに比べ6.8ポイント改善しました。

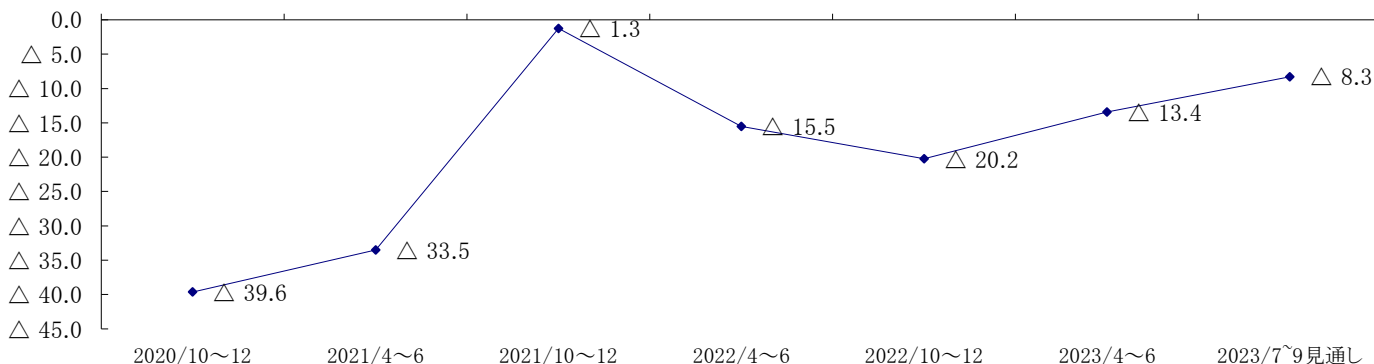
### □2023年4～6月期 業種別の販売数量

DI値の動きを、今期と前回調査(2022年10月～12月)で比較すると、製造業、サービス業で改善しています。

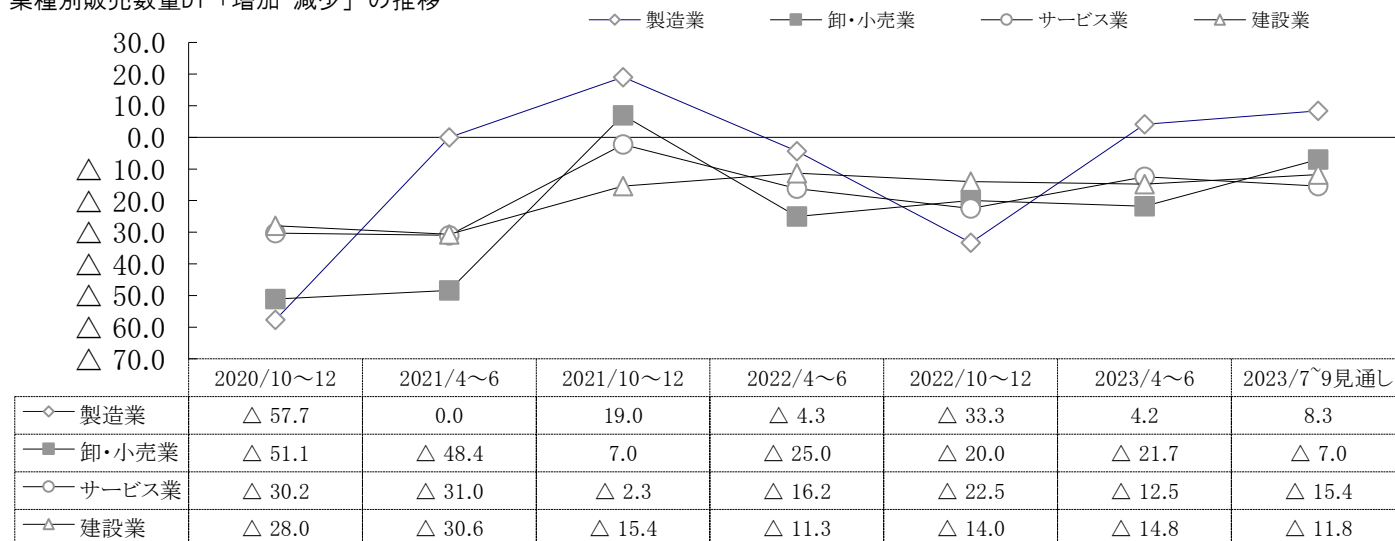
### □2023年7～9月期の見通し

全産業の販売数量DI値は、今期実績の△13.4から△8.3へと5.1ポイント改善する見通しとなりました。

全産業 販売数量DI「増加-悪化」の推移



業種別販売数量DI「増加-減少」の推移

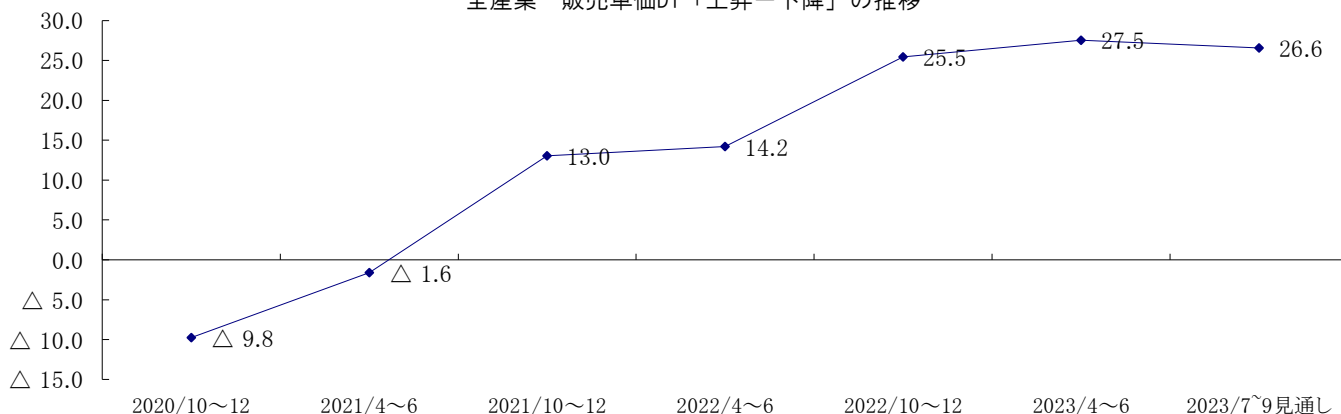


## 販売単価の動向 販売単価DI 上昇の状況続き、高止まりしている

### □2023年4～6月期 全業種の販売単価

今期の販売単価DI値(「上昇」と回答した企業-「下降」と回答した企業)は27.5で、前回調査(2022年10月～12月)の25.5から2.0ポイント上昇しています。

全産業 販売単価DI「上昇-下降」の推移



## 仕入高の動向

仕入高DI 前回より2.5ポイント減少し、見通しも減少するも、高止まり傾向が続く

### □2023年4～6月期 全業種の仕入高

今期の仕入高DI値(「増加」と回答した企業-「減少」と回答した企業)は31.5で、前回調査(2022年10月～12月)の34.0に比べ2.5ポイント減少しました。

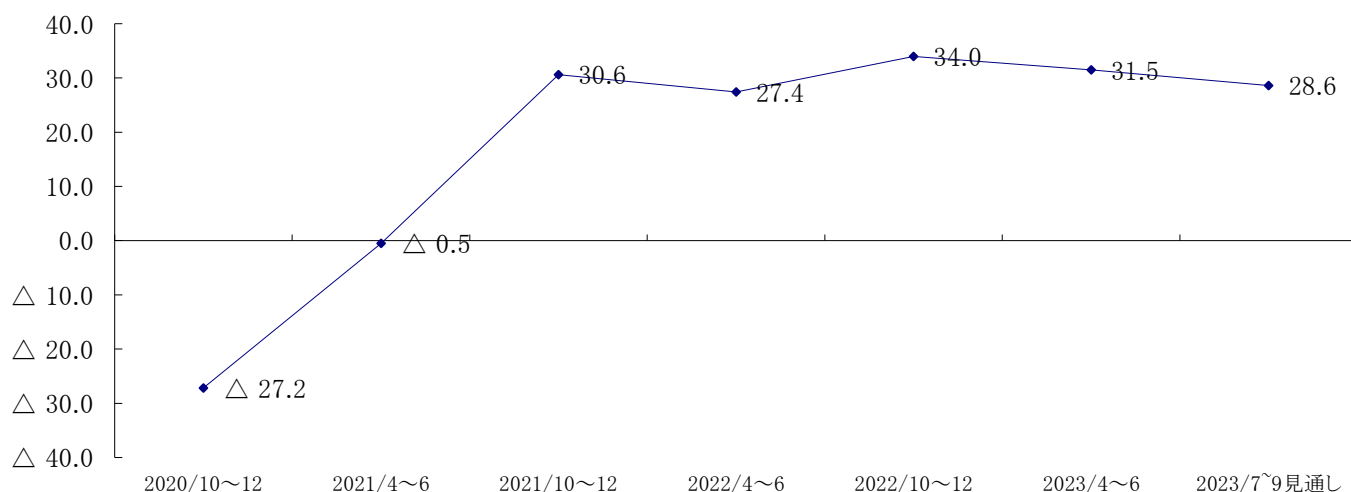
### □2023年4～6月期 業種別の仕入高

DI値の動きを、今期と前回調査(2022年10月～12月)で比較すると、卸・小売業で減少しています。

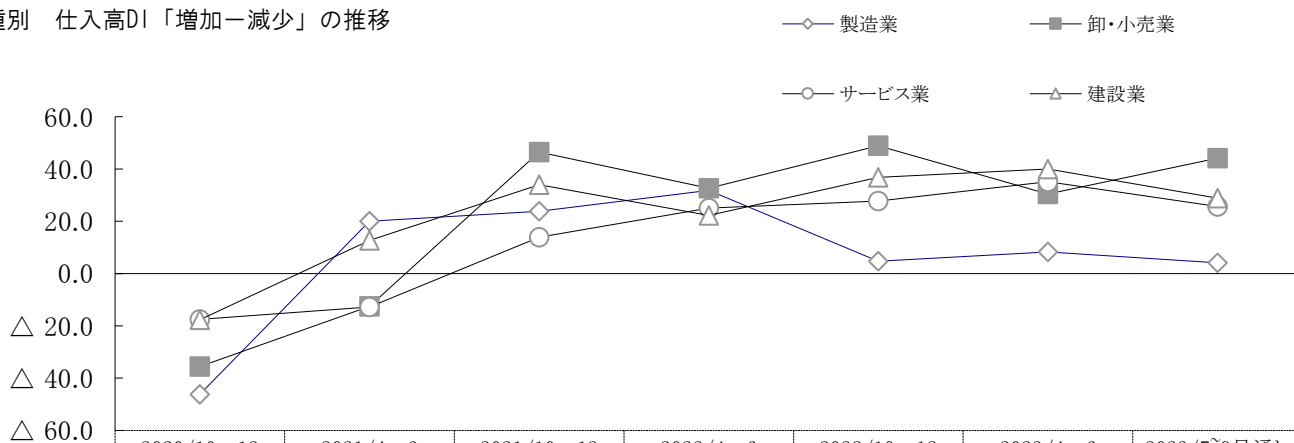
### □2023年7～9月期の見通し

全産業の仕入高DI値は、今期実績の31.5から28.6へ2.9ポイント減少する見通しとなりました。

全産業 仕入高DI「増加-減少」の推移



業種別 仕入高DI「増加-減少」の推移

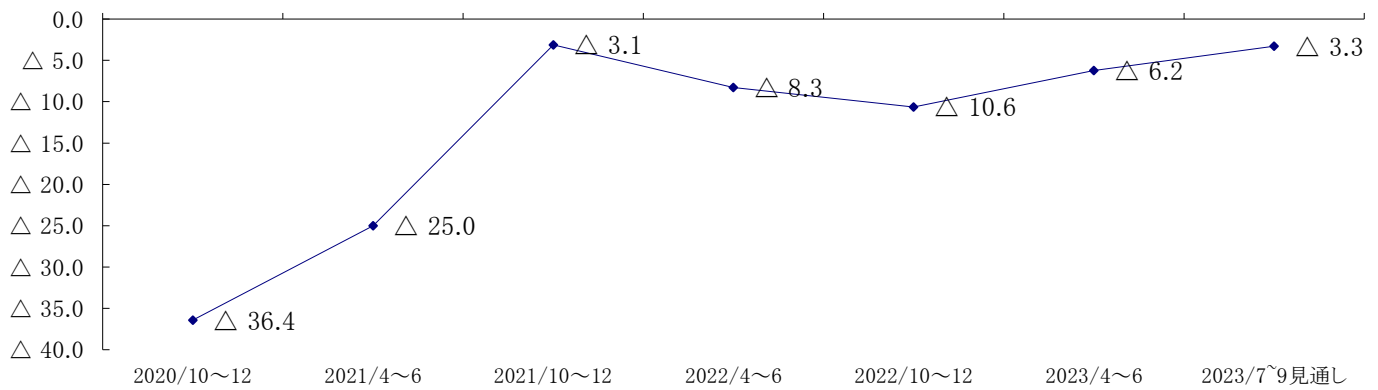


業種	2020/10~12	2021/4~6	2021/10~12	2022/4~6	2022/10~12	2023/4~6	2023/7~9見通し
製造業	△ 46.2	20.0	23.8	31.8	4.8	8.3	4.2
卸・小売業	△ 35.6	△ 12.5	46.5	32.7	48.9	30.4	44.2
サービス業	△ 17.5	△ 12.8	14.0	25.0	27.8	35.1	25.7
建設業	△ 17.6	12.7	34.0	22.2	36.8	40.0	28.8

## 仕入数量の動向

仕入数量DI 4.4ポイント増加し、見通しも増加

全産業 仕入数量DI「増加－減少」の推移



### □2023年4～6月期 全業種の仕入数量

今期の仕入数量DI値（「増加」と回答した企業－「減少」と回答した企業）は△6.2で、前回調査（2022年10月～12月）の△10.6ポイントに比べ4.4ポイント増加しました。

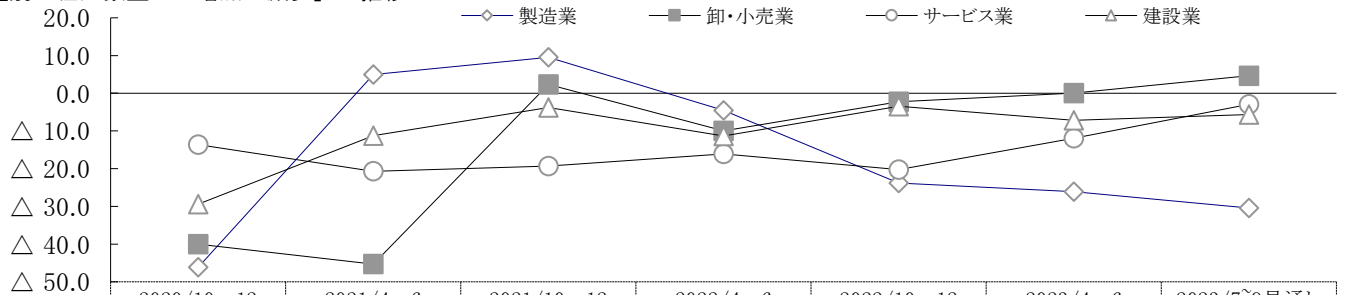
### □2023年4～6月期 業種別の仕入数量

DI値の動きを、今期と前回調査（2022年10月～12月）で比較すると、卸・小売業、サービス業で増加しています。

### □2023年7～9月期の見通し

全産業の仕入数量DI値は、今期実績の△6.2から△3.3へと2.9ポイント増加する見通しとなりました。

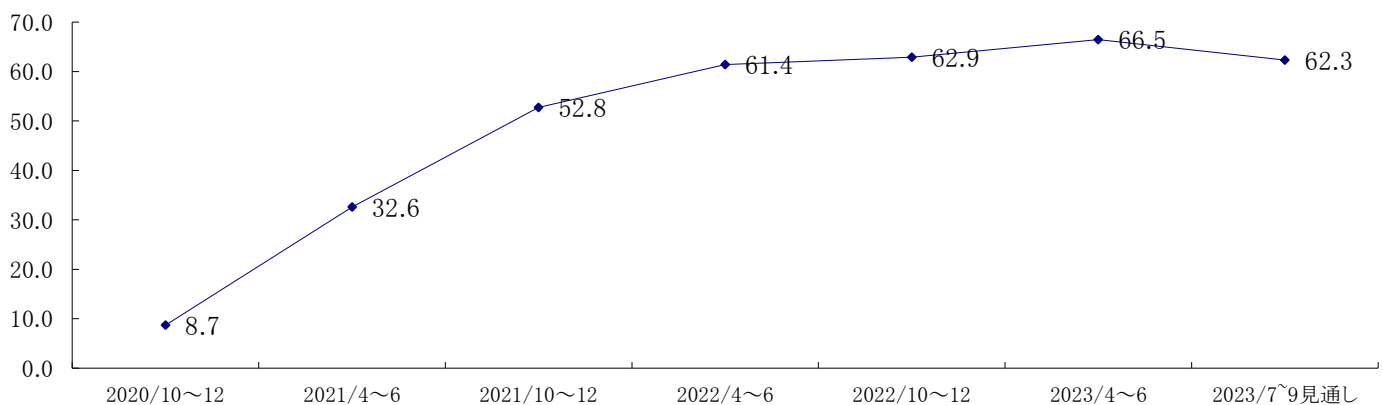
業種別 仕入数量DI「増加－減少」の推移



## 仕入単価の動向

仕入単価は過去最大値を更新。見通しで減少するも高止まり傾向

全産業 仕入単価DI「上昇－下落」の推移



### □2023年4～6月期 全業種の仕入単価

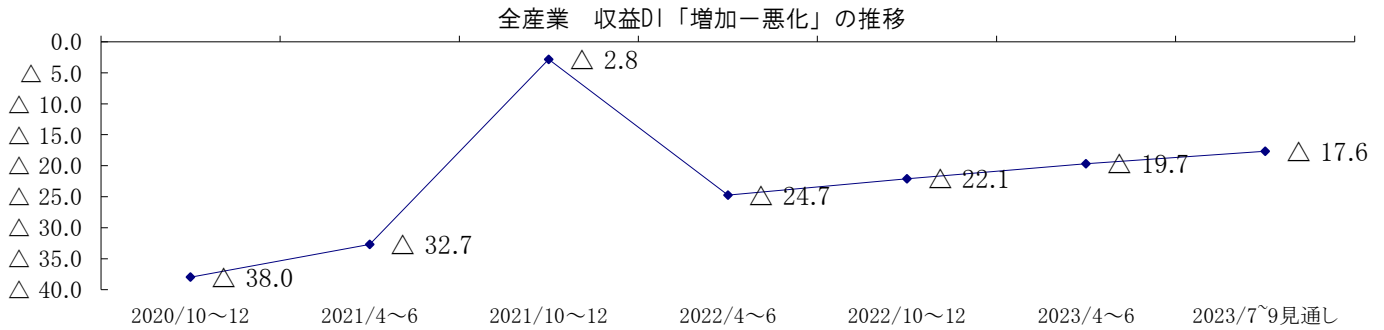
今期の仕入単価DI値（「上昇」と回答した企業－「下降」と回答した企業）は66.5で、前回調査（2022年10月～12月）の62.9に比べ3.6ポイント増加しています。

### □2023年7～9月期の見通し

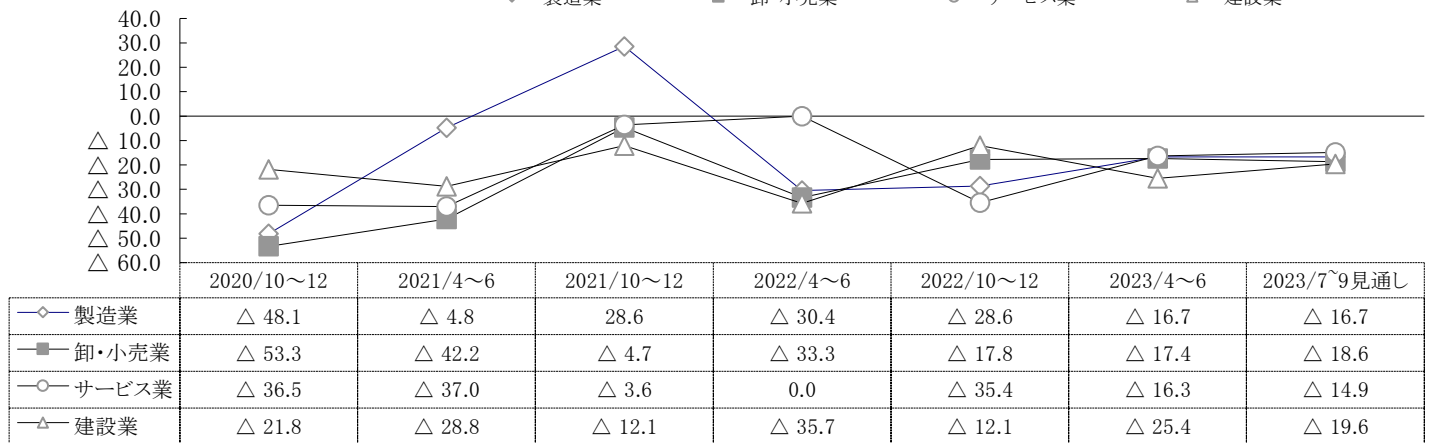
2023年7～9月期の見通しDI値は62.3ポイントで今期の66.5ポイントから4.2ポイント減少しています。

# 収益の動向

収益DI 前回より2.4ポイント改善も、厳しい状況が続く



## 業種別 収益DI「増加-減少」の推移



### □2023年4~6月期 全業種の収益

今期の収益DI値(「増加」と回答した企業-「減少」と回答した企業)は△19.7で、前回調査(2022年10月~12月)の△22.1に比べ2.4ポイント改善しました。

### □2023年4~6月期 業種別の収益

DI値の動きを、今期と前回調査(2022年10月~12月)で比較すると、製造業、卸・小売業、サービス業で改善しています。

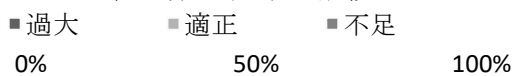
### □2023年7~9月期の見通し

全産業の収益DI値は、今期実績の△19.7から△17.6へと2.1ポイント改善する見通しとなりました。

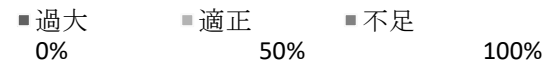
# 在庫

前回より「不足」の割合が減るも、見通しは「不足」傾向の状態が強くなる

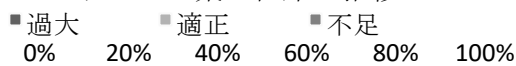
## 製造業 在庫の推移



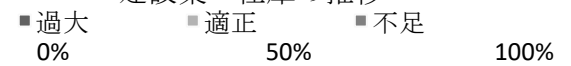
## 卸・小売業 在庫の推移



## サービス業 在庫の推移



## 建設業 在庫の推移



## 資金繰りの動向

DI値は悪化し「困難」が「容易」を上回る。見通しも「困難」の割合が上回る。

### □2023年4～6月期 全業種の資金繰り

今期「容易」と回答した企業割合は、前回調査(2022年10月～12月)に比べ、3.1ポイント減少して11.3%に。「困難」と回答した企業割合は、8.8ポイント増加して20.9%になり、「容易」-「困難」の企業割合(DI値)は2.3から△9.6となりました。

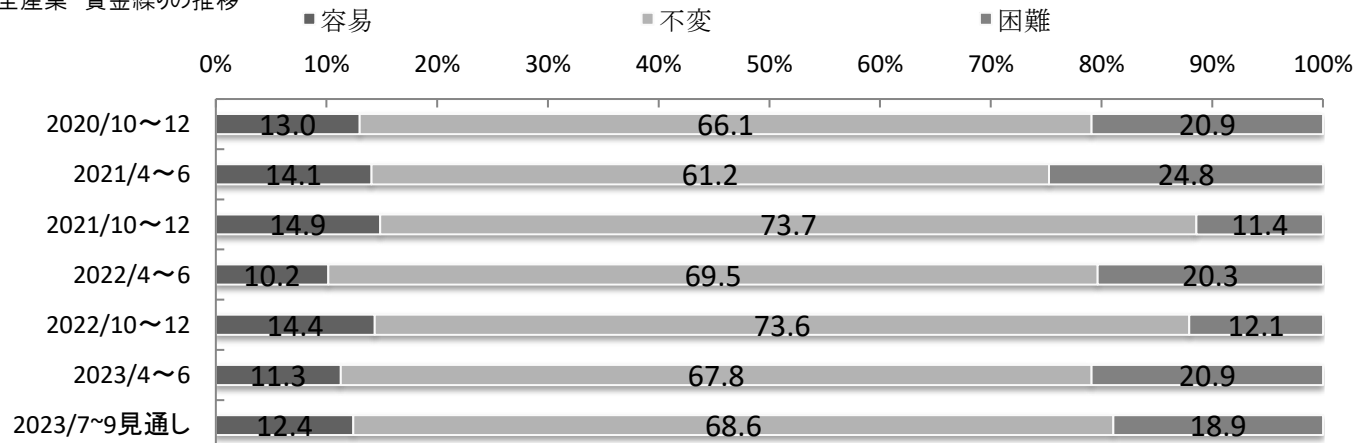
### □2023年4～6月期 業種別の資金繰り

DI値の動きを、今期と前回調査(2023年10月～12月)で比較すると、全業種で悪化しています。

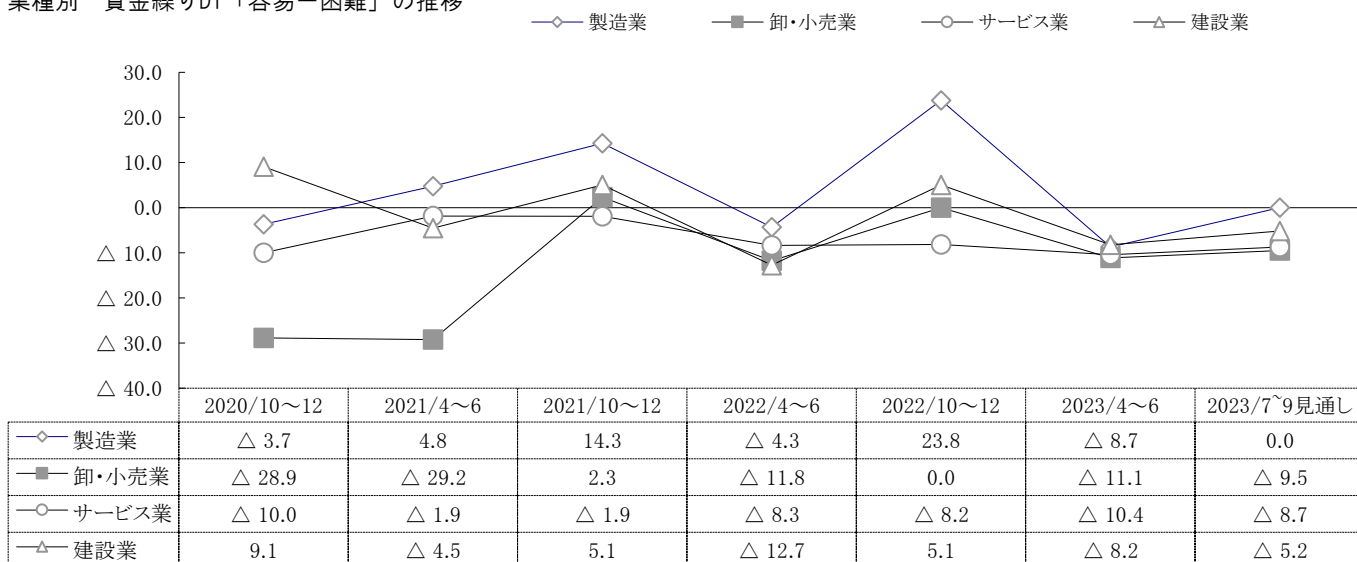
### □2023年7～9月期の見通し

DI値の動きは、今期△9.6から△6.5と若干改善する見通しとなりました。

#### 全産業 資金繰りの推移



#### 業種別 資金繰りDI「容易-困難」の推移



## 借入難易度の動向

今期実績・見通しともに、「困難」の割合が増加

### □2023年4～6月期 全業種の借入難易度

今期「容易」と回答した企業割合は、前回調査(2022年10月～12月)に比べ、6.1ポイント減少して12.0%に。「困難」と回答した企業割合は、5.4ポイント増加して9.6%になりました。

### □2023年4～6月期 業種別の借入難易度

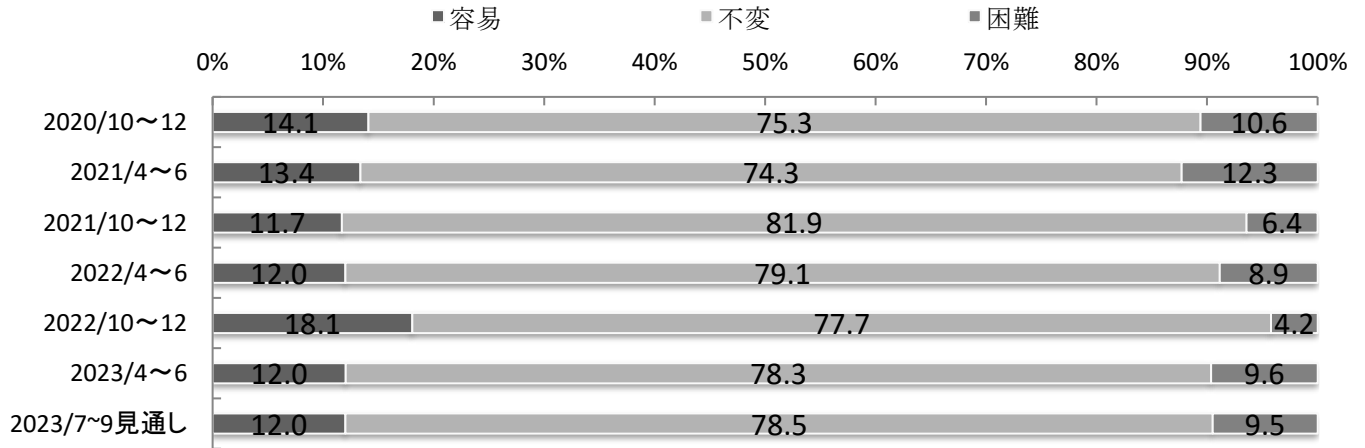
DI値の動きを、今期と前回調査(2022年10月～12月)で比較すると全業種で悪化しています。

### □2023年7～9月期の見通し

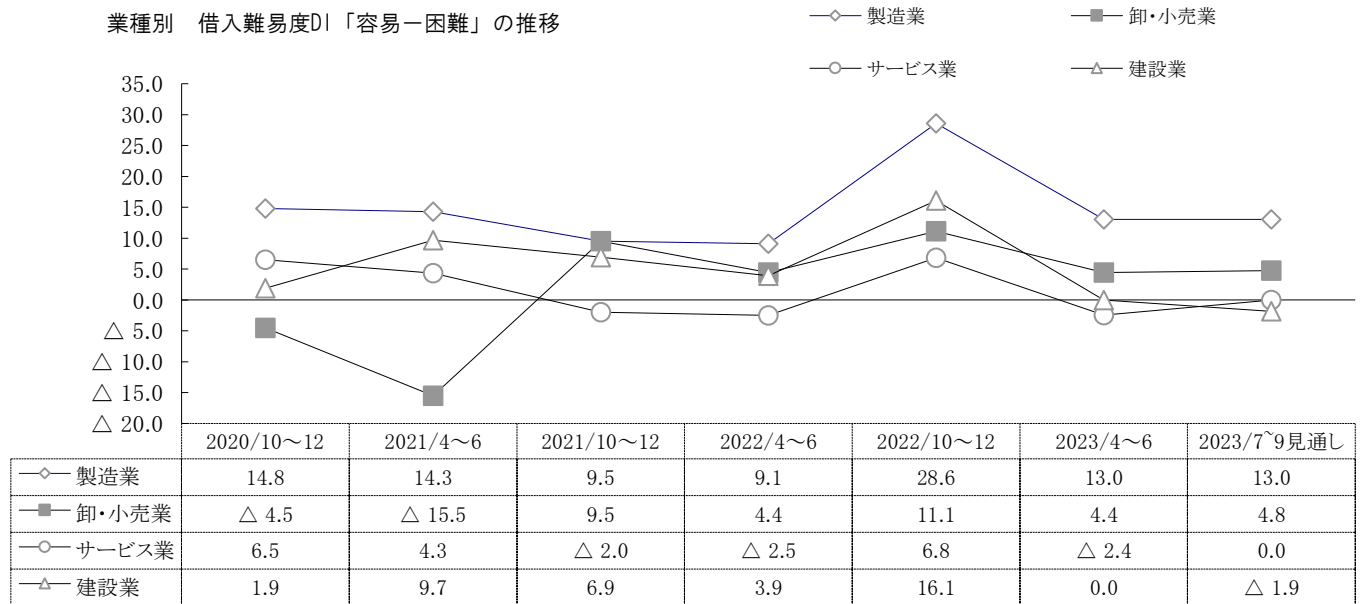
2023年7～9月の見通しは、「容易」が増減なし、「困難」が0.1%減少しています。



全産業 借入難易度の推移



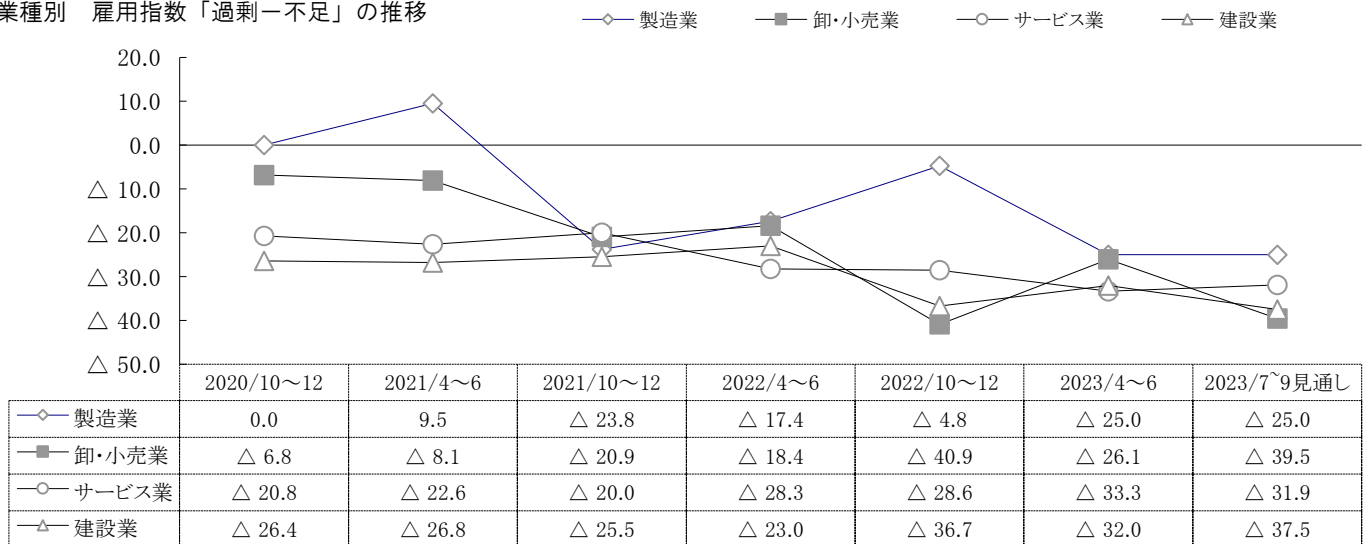
業種別 借入難易度DI「容易-困難」の推移



人手 一部の業種で回復傾向がみられるも、不足傾向が続く

- 2023年4~6月期の人手について、製造業、サービス業で不足感が強くなりました。
- 2023年7~9月期の見通しは、卸・小売業、建設業で人手不足傾向が強まると予想されます。

業種別 雇用指数「過剰-不足」の推移



※雇用指数 = 「過剰」 - 「不足」

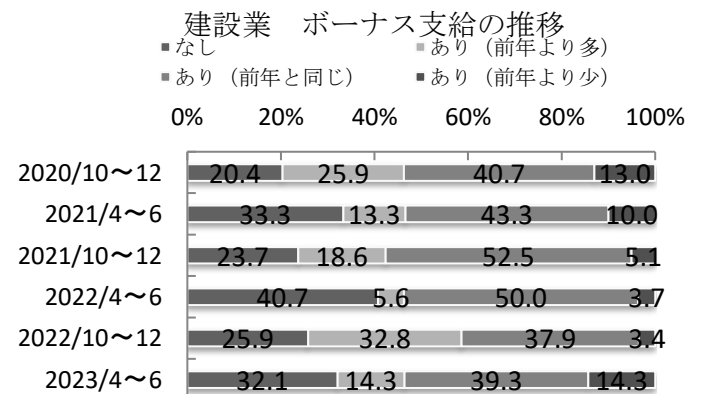
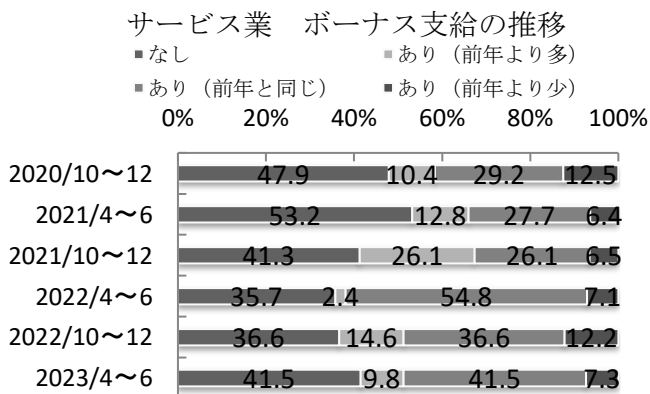
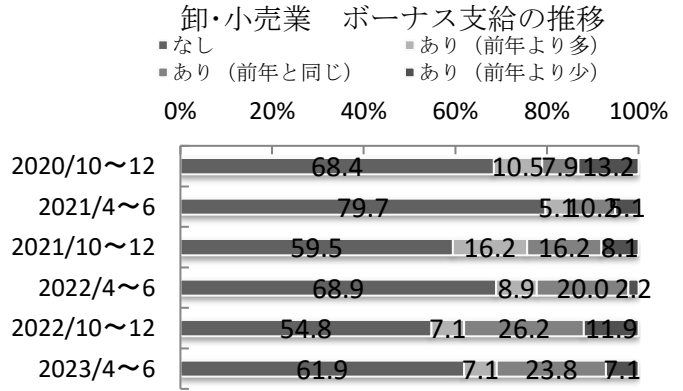
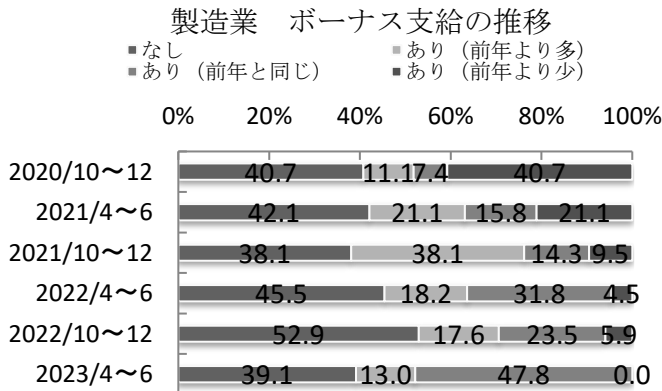
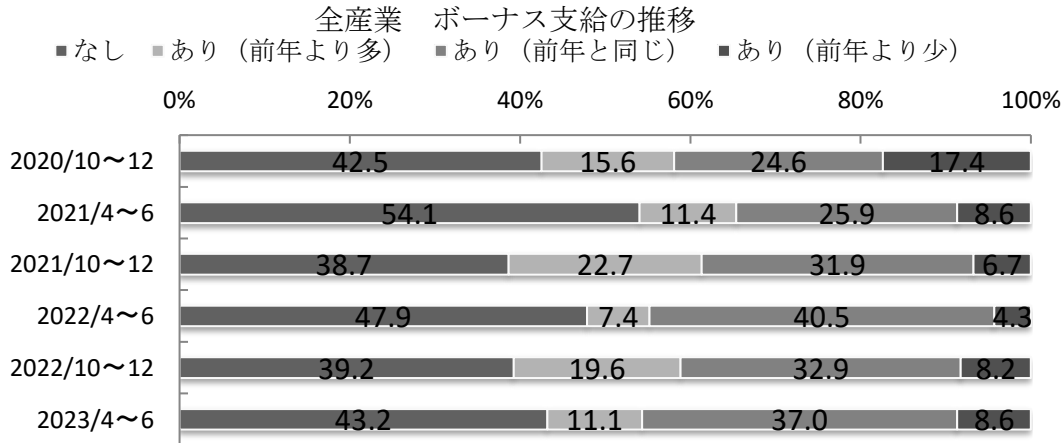
マイナス幅が大きいほど不足感が強い

## 夏季ボーナス

前年同期(前回夏)の調査に比べ、「支給なし」の割合が減少

□2023年夏のボーナス支給状況を全業種についてみると、「支給なし」の企業割合が43.2%、「支給あり」の企業割合が56.7%となっています。

□業種別に2022年夏のボーナスと比較すると、製造業、卸・小売業、建設業で「支給なし」の割合が減少しています。



経営上の問題点 (複数回答 実数)

「売上減少」「原材料の値上がり」「諸経費増大」「人手不足・人事不足」による問題が上位を占める

- 【製造業】(1位)売上減少 (2位)原材料の値上がり (3位)諸経費増大
- 【卸・小売業】(1位)売上減少 (2位)人材不足・人手不足 (3位)原材料の値上がり
- 【サービス業】(1位)諸経費増大 (2位)売上減少 (3位)原材料の値上がり、人材不足・人手不足
- 【建設業】(1位)原材料の値上がり (2位)売上減少 (3位)人手不足・人材不足

業種	規模別	売上減少	同業者の競争激化	大手大型店との競争激化	輸入製品との競争激化	売掛金回収難	販売受注先からの値下げ要請	仕入先からの値上げ要請	原材料の値上がり	人件費増大	諸経費増大	店舗工場機械等の陳腐化	下請け確保難	天候不順	大手企業の縮小撤退	取扱い・販売商品の陳腐化	取引先減少	人材不足・人手不足	商圏人口減少	商店街の集客力低下	技術力不足	金融難	在庫増大	海外事情の悪化	消費税の負担増	ICT化による合理化	エネルギーコストの増加	その他
		製造業	13	4	3	0	1	2	6	11	3	8	1	1	0	0	0	3	7	1	0	0	0	0	0	0	0	0
卸・小売業	20	2	5	1	0	0	8	13	12	12	1	2	2	1	1	7	18	9	8	1	0	4	1	0	0	0	5	1
サービス業	17	6	2	0	4	1	7	13	9	19	2	1	0	0	0	4	13	12	1	6	0	1	0	6	0	11	1	
建設業	30	9	1	0	2	2	16	32	7	6	2	12	2	1	0	5	23	2	0	10	1	0	0	6	0	6	1	
規模別	5人以下	43	8	9	0	5	4	22	37	9	25	4	10	1	1	15	20	14	8	9	1	3	1	10	0	13	2	
	6~10人	13	3	2	1	1	0	6	9	8	8	1	1	3	0	0	3	13	6	1	4	0	1	0	2	0	6	0
	11~20人	12	3	0	0	0	1	3	12	6	5	1	3	0	1	0	1	13	2	0	2	0	1	0	0	0	5	1
	21人~50人	8	5	0	0	1	0	3	8	7	5	0	2	0	0	0	15	12	2	0	1	0	0	0	0	0	2	0
	51人以上	4	2	0	0	0	0	3	3	1	2	0	0	0	0	0	0	3	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0

経営改善対策 (複数回答 実数)

「経費節減」、「販路拡大」による対策の他、「販売価格の引き上げ」が上位を占める

- 【製造業】(1位)経費削減 (2位)販路拡大 (3位)販売価格の引き上げ
- 【卸・小売業】(1位)経費削減 (2位)販路拡大 (3位)在庫管理徹底
- 【サービス業】(1位)経費削減 (2位)販路拡大 (3位)販売価格の引き上げ
- 【建設業】(1位)経費削減 (2位)販路拡大 (3位)販売価格の引き上げ

業種	規模別	販路拡大	経費節減	パート化	情報収集力の強化	新製品技術の開発	不採算部門製品の整理縮小	従業員の教育訓練強化	事業転換、新規事業開始	流通経路の見直し	技術開発力の向上	販売価格の引き上げ	販売価格の引き下げ	品質サービスの向上	輸入品の取扱い増	宣伝広告の強化	店舗設備の改装	採用活動の積極化	非正規雇用の増加	外注下請け発注取止め	在庫管理徹底	海外投資海外市場開拓	ICT化による合理化	長時間労働の抑制	特に対策なし	その他
		製造業	13	14	0	4	5	1	2	2	0	3	6	0	3	0	2	0	3	1	1	4	0	0	0	2
卸・小売業	19	21	0	5	2	1	10	5	0	4	10	1	7	0	5	5	9	1	0	12	2	1	3	2	1	
サービス業	19	29	4	9	3	0	10	2	0	5	12	1	9	0	4	3	11	0	0	0	0	1	2	4	0	
建設業	25	30	1	9	0	3	13	4	0	13	21	0	12	0	1	1	17	1	2	1	0	3	2	3	0	
規模別	5人以下	35	48	3	11	4	1	12	6	0	14	29	2	21	0	5	7	13	1	2	15	1	3	3	10	2
	6~10人	16	16	2	6	4	2	7	3	0	3	7	0	6	0	2	1	8	1	0	0	1	0	2	1	0
	11~20人	12	15	0	5	0	1	6	1	0	3	8	0	2	0	2	0	10	1	1	1	0	0	2	0	0
	21人~50人	11	11	0	4	1	1	7	3	0	5	3	0	1	0	2	1	6	0	0	0	0	2	0	0	0
	51人以上	2	4	0	1	1	0	3	0	0	0	2	0	1	0	1	0	3	0	0	1	0	0	0	0	0